

（参考）

平成28年3月期 第2四半期連結決算概要

平成27年 10月30日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (10/30発表値)	
					通期	増減
売上高	7,760	7,086	△ 674	15,501	13,550	△1,951
営業利益	186	414	228	420	700	280
経常利益	194	412	218	444	600	156
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	285	211	173	350	177

2. セグメント別 売上高・営業利益

・売上高

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	計	増減		平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (10/30発表値)	
				数量差	価格差		通期	増減
ヘルスケア	684	821	137	144	△ 7	1,382	1,550	168
機能樹脂	857	865	8	△ 16	24	1,745	1,750	5
ウレタン	750	632	△ 118	△ 104	△ 14	1,548	1,160	△ 388
基礎化学品	1,744	1,414	△ 330	△ 23	△ 307	3,308	2,590	△ 718
石化	2,940	2,527	△ 413	82	△ 495	5,844	4,800	△1,044
フード&パッケージング	614	639	25	26	△ 1	1,292	1,300	8
その他	171	188	17	17	-	382	400	18
合計	7,760	7,086	△ 674	126	△ 800	15,501	13,550	△1,951

・営業利益

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	計	増減			平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (10/30発表値)	
				数量差	交易条件	固定費他		通期	増減
ヘルスケア	45	46	1	14	6	△ 19	91	110	19
機能樹脂	71	139	68	8	57	3	187	245	58
ウレタン	△ 35	△ 33	2	0	△ 8	10	△ 35	△ 70	△ 35
基礎化学品	△ 49	10	59	4	35	20	△ 79	10	89
石化	125	204	79	12	77	△ 10	216	355	139
フード&パッケージング	53	78	25	14	14	△ 3	91	130	39
その他	4	△ 1	△ 5	-	-	△ 5	9	△ 5	△ 14
全社費用等	△ 28	△ 29	△ 1	-	-	△ 1	△ 60	△ 75	△ 15
合計	186	414	228	52	181	△ 5	420	700	280

当期より、事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントを変更しております。

なお、平成27年3月期の金額は、平成28年3月期の業績予想対比のための概算数値であり、監査を受けておりません。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (10/30発表値)	
					通期	増減
資産売却益	2	12	10	23	12	△ 11
事業譲渡益	-	37	37	-	37	37
固定資産処分・売却損	△ 15	△ 21	△ 6	△ 45	△ 60	△ 15
減損損失	△ 18	△ 27	△ 9	△ 53	△ 27	26
関連事業損失	-	△ 2	△ 2	-	△ 2	△ 2
その他	△ 2	-	2	△ 11	-	11
合計	△ 33	△ 1	32	△ 86	△ 40	46

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H27/3末	H27/9末	増 減		H27/3末	H27/9末	増 減
流動資産	7,317	6,601	△ 716	有利子負債	5,487	4,916	△ 571
有形固定資産	4,336	4,212	△ 124	その他負債	3,918	3,688	△ 230
無形固定資産	728	643	△ 85	自己資本	4,062	4,236	174
投資等	1,737	1,999	262	非支配株主持分	651	615	△ 36
資産計	14,118	13,455	△ 663	負債純資産計	14,118	13,455	△ 663

(NET D/Eレシオ) (1.22) (1.00) (△ 0.22)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	増 減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期 業績予想 (10/30発表値)	増 減
	営業キャッシュ・フロー	151	867	716	583	1,400
投資キャッシュ・フロー	△ 168	△ 127	41	△ 350	△ 500	△ 150
(フリーキャッシュ・フロー)	(△ 17)	(740)	(757)	(233)	(900)	(667)
財務キャッシュ・フロー	△ 117	△ 585	△ 468	△ 466	△ 800	△ 334
その他	5	△ 7	△ 12	27	-	△ 27
現預金等増減	△ 129	148	277	△ 206	100	306
現預金等残高	583	654	71	506		

6. 主要指標

		平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	増 減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期 業績予想 (10/30発表値)	増 減
		研究開発費	億円	158	157	△ 1	325
減価償却費	億円	237	253	16	482	530	48
設備投資額	億円	191	211	20	475	530	55
(企業買収除く)	億円	(160)	(211)	(51)	(431)	(530)	(99)
金融収支	億円	△ 16	△ 25	△ 9	△ 23	△ 50	△ 27
期末有利子負債残高	億円	5,762	4,916	△ 846	5,487	4,750	△ 737
Net D/Eレシオ	倍	1.39	1.00	△ 0.39	1.22	0.98	△ 0.24
期末従業員数	人	14,345	13,626	△ 719	14,363	13,500	△ 863
為替レート	円/US\$	103	122	19	110	121	11
国産ナフサ価格	円/KL	70,400	48,100	△22,300	63,500	44,100	△19,400
連結会社数	社	138	132	△ 6	137	131	△ 6

7. 当期のトピックス

- ・大牟田工場にて新規ポリウレタン材料の新プラント建設着工（平成27年4月）
（特殊イソシアネートFORTIMO®及びSTABiO®製造設備、2千トン/年、平成28年8月営業運転予定）
- ・Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. 営業開始（平成27年7月）
- ・世界初のXDI大型プラント、大牟田工場にて営業運転開始（5千トン/年：平成27年11月）
- ・シンガポールにおける「エボリュー®」プラント営業運転開始（30万トン/年：平成27年度下期）
- ・インドにおけるバイオポリオールプラント新設（8千トン/年：平成27年度下期）



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	708,647	△8.7	41,412	122.9	41,194	112.0	28,461	286.5
27年3月期第2四半期	775,959	6.1	18,579	69.1	19,428	81.3	7,364	616.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 23,218百万円 (8.8%) 27年3月期第2四半期 21,336百万円 (12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	28.44	—
27年3月期第2四半期	7.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	1,345,524	485,146	31.5	423.30
27年3月期	1,411,790	471,299	28.8	405.88

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 423,617百万円 27年3月期 406,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,355,000	△12.6	70,000	66.5	60,000	35.1	35,000	102.8	34.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	1,022,020,076 株	27年3月期	1,022,020,076 株
28年3月期2Q	21,278,490 株	27年3月期	21,154,633 株
28年3月期2Q	1,000,787,101 株	27年3月期2Q	1,001,180,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、以下のとおりネットコンファレンス及び経営概況説明会を開催する予定です。説明会の音声を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成27年10月30日(金)……機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンス
- ・平成27年11月18日(水)……経営概況説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
① 通期業績予想の修正とその理由について	5
② 配当予想の修正について	5
(4) 韓国SKCとのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と 特別利益の計上について	6
(5) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項	7
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(2) 会計方針の変更	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
(7) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更	16
(8) 企業結合等関係	17
4. 補足情報	19
企業集団の状況	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日の6ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、個人消費の増加、堅調な住宅市場を背景とした米国での景気回復の動きが継続し、また、回復基調にある英国やドイツを中心にヨーロッパにおいても景気は緩やかな回復を見せる一方、中国・新興国においては依然として景気減速の動きが継続しております。

日本では、企業収益の改善、住宅建設の持ち直しなどを背景として、景気は緩やかな回復基調が継続しております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	7,086	414	412	285
前年同四半期	7,760	186	194	74
増減額	△674	228	218	211
増減率(%)	△8.7%	122.9%	112.0%	286.5%

売上高は、前年同四半期に比べ674億円減(8.7%減)の7,086億円となりました。これは、主にヘルスケア事業における決算期変更による9ヶ月分の売上高の取込み等により、販売数量増加の影響が126億円あったものの、ナフサなどの原燃料価格下落による販売価格下落の影響が800億円あったことなどによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ228億円増(122.9%増)の414億円となりました。これは、主に増販に加え、スプレッドの改善及び円安による交易条件の改善によるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ218億円増(112.0%増)の412億円となりました。これは、主に営業利益及び持分法による投資利益が増加したことによるものです。

特別損益は、事業譲渡益や資産売却益等があったものの、固定資産処分損等の計上により、1億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ250億円増(154.7%増)の411億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ211億円増(286.5%増)の285億円となり、1株当たり四半期純利益金額は28.44円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

当社は、平成26年度中期経営計画における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速を図るため、平成27年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能化学品セグメントのうち、精密化学品事業を基礎化学品セグメントに、ライセンス事業を石化セグメントに移管し、ヘルスケア材料事業、不織布事業及び歯科材料事業をヘルスケアセグメントとしております。また、従来の機能化学品セグメントの農薬事業とフィルム・シートセグメントを統合し、新たにフード&パッケージングセグメントとしております。

なお、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期分を変更後のセグメントに組み替えて行っております。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ137億円増の821億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。また、営業利益は、固定費増加等があったものの増販効果により、前年同四半期に比べ1億円増の46億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ヘルスケア材料のメガネレンズ用材料、**不織布**は、海外の需要拡大等を受けて販売を拡大し、好調に推移しました。

歯科材料は決算期変更による9ヶ月間の損益取込みの影響により、のれん償却費等の固定費が増加しております。

(機能樹脂)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ8億円増の865億円、売上高全体に占める割合は12%となりました。また、営業利益は、円安効果及び需要拡大への的確な対応等により、前年同四半期に比べ68億円増の139億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、円安効果及びグローバルな需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

機能性コンパウンド製品は、円安効果及び北米・アジアを中心とする自動車用途の堅調な需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

また、**機能性ポリマー**についても、円安効果及び電子情報関連用途の需要拡大に的確に対応し、収益を拡大しました。

(ウレタン)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ118億円減の632億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。一方、営業損失は、ポリウレタン材料の海外市況下落があったものの円安及び原材料価格下落等の影響により、前年同四半期に比べ2億円改善の33億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・営業損失の改善となりました。

コーティング材料は、海外での需要拡大及び交易条件の改善等により収益を拡大しております。

一方、**ポリウレタン材料**は、7月に設立された三井化学SKKポリウレタン(株)に事業譲渡しましたが、海外市況の低迷による同社向け製造受託事業の収益悪化により、厳しい状況が続いております。

(基礎化学品)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ330億円減の1,414億円、売上高全体に占める割合は20%となりました。一方、営業損益は、当社が進めてきた事業再構築の効果が発現したことを受け、前年同四半期に比べ59億円改善の10億円の利益となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

フェノールは、前年同四半期に比べ市況は改善しているものの、同業他社の新設立ち上げ影響等により、依然として市況水準は低く、厳しい状況が続いております。

高純度テレフタル酸は、中国市況の低迷を背景に、厳しい状況が続いております。

(石化)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ413億円減の2,527億円、売上高全体に占める割合は36%となりました。一方、営業利益は、原油価格が安定して推移する中、交易条件の維持により、前年同四半期に比べ79億円増の204億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率が前年同四半期を上回りました。また、北中米の自動車生産台数の増加等により、海外PPコンパウンド事業の収益は順調に推移しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 25 億円増の 639 億円、売上高全体に占める割合は 9%となりました。また、営業利益は、販売の拡大や交易条件改善等により、前年同四半期に比べ 25 億円増の 78 億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

機能性フィルム・シートは、スマートフォン等を始めとした高付加価値分野における需要の拡大、新製品の拡販、円安効果等により、収益を拡大しております。

農薬は、国内において消費増税の反動を受けた前年に対して増販しました。また、海外においては円安効果等により、収益が拡大しました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 17 億円増の 188 億円、売上高全体に占める割合は 3%となりました。一方、営業損益は、前年同四半期に比べ 5 億円悪化の 1 億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ 663 億円減の 1 兆 3,455 億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ 801 億円減の 8,604 億円となりました。また、**有利子負債**は 571 億円減の 4,916 億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ 2.4 ポイント減の 36.5%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ 138 億円増の 4,851 億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ 2.7 ポイント増の 31.5%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本)**は、前期末に比べ 0.22 ポイント減の 1.00 となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ 148 億円増加し、当四半期末には 654 億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ 716 億円増の 867 億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の増加及び売上債権、在庫の減少による運転資金の改善などによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ 41 億円減の 127 億円となりました。これは主として、当四半期においてポリウレタン材料事業の譲渡による収入があった影響によるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ 468 億円増の 585 億円となりました。これは主として、有利子負債の返済を行ったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 27 年 10 月 30 日に公表いたしました「第 2 四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正、配当予想の修正及び韓国 SKC とのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、通期業績予想及び配当予想について見直しを行っております。

① 通期業績予想の修正とその理由について

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期 121 円/\$ (10 月～3 月 120 円/\$)、国産ナフサ価格は通期 44,100 円/KL (10 月～3 月 40,000 円/KL) を前提としております。

第2四半期累計期間の実績値を踏まえ、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値から上回る見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	14,400	650	580	320	31.97
今回修正予想(B)	13,550	700	600	350	34.97
増減額(B-A)	△850	50	20	30	
増減率(%)	△5.9	7.7	3.4	9.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	15,501	420	444	173	17.24

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高								
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード &パッ ケージ ング	その他	全社 費用等	合計
前回発表 予想	1,560	1,780	1,230	3,020	5,060	1,350	400	—	14,400
今回修正 予想	1,550	1,750	1,160	2,590	4,800	1,300	400	—	13,550
増減額	△10	△30	△70	△430	△260	△50	—	—	△850

(単位：億円)

	営業利益								
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード &パッ ケージ ング	その他	全社 費用等	合計
前回発表 予想	110	245	△50	0	295	130	—	△80	650
今回修正 予想	110	245	△70	10	355	130	△5	△75	700
増減額	—	—	△20	10	60	—	△5	5	50

② 配当予想の修正について

平成28年3月期の中間配当につきましては、3円配当予想としておりましたが、第2四半期累計期間の業績が当初予想を上回ったため、当社グループの経営状況を勘案し、1株あたり4円の配当といたします。

平成28年3月期の期末配当予想につきましても、最近の業績動向を踏まえ、1株あたり1円増加の4円といたします。これにより、1株あたりの年間配当予想は、2円増加の8円となります。

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想	—	3.00	—	3.00	6.00
今 回 修 正 予 想			—	4.00	8.00
当 期 実 績	—	4.00			
(ご参考)前 期 実 績 (平成27年3月期)	—	2.00	—	3.00	5.00

(4) 韓国 SKC とのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と特別利益の計上について
平成27年10月30日に公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正、配当予想の修正及び韓国 SKC とのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、韓国 SKC とのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益及び特別利益を計上いたしました。

① 持分法による投資利益の計上について

韓国 SKC との韓国合弁会社へ出資した際の負ののれん発生益を、持分法による投資利益として32億円計上しました。

② 特別利益の計上について

ポリウレタン材料事業を韓国 SKC との日本合弁会社へ分割した際の事業譲渡益として、特別利益に37億円計上しました。

(5) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報

(業績予想数値と実績値との差異)

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績について、平成27年7月22日に公表しました業績予想と以下のとおり差異が生じております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,300	330	310	180	17.99
実 績 値 (B)	7,086	414	412	285	28.44
増 減 額 (B-A)	△214	84	102	105	
増 減 率 (%)	△2.9	25.5	32.9	58.1	
(ご参考)前年第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	7,760	186	194	74	7.36

(差異の生じた理由)

営業利益は、主に石化セグメント、機能樹脂セグメント及び基礎化学品セグメントにおいて交易条件が改善したことなどにより、前回発表予想数値を上回る結果となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加に加え、韓国 SKC とのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と特別利益を計上したことなどにより、前回発表予想数値を上回る結果となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組み替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,004	66,688
受取手形及び売掛金	299,052	255,522
たな卸資産	291,295	263,899
繰延税金資産	9,118	8,982
未収入金	70,981	55,661
その他	10,079	9,907
貸倒引当金	△821	△545
流動資産合計	731,708	660,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	337,811	331,679
減価償却累計額	△229,306	△228,345
建物及び構築物(純額)	108,505	103,334
機械装置及び運搬具	1,012,850	1,004,856
減価償却累計額	△888,755	△888,476
機械装置及び運搬具(純額)	124,095	116,380
土地	160,188	157,983
建設仮勘定	28,994	33,040
その他	73,035	70,837
減価償却累計額	△61,188	△60,344
その他(純額)	11,847	10,493
有形固定資産合計	433,629	421,230
無形固定資産		
のれん	34,978	30,855
その他	37,785	33,422
無形固定資産合計	72,763	64,277
投資その他の資産		
投資有価証券	109,830	131,460
退職給付に係る資産	25,170	28,287
繰延税金資産	5,853	6,280
その他	33,706	34,704
貸倒引当金	△869	△828
投資その他の資産合計	173,690	199,903
固定資産合計	680,082	685,410
資産合計	1,411,790	1,345,524

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,193	140,621
短期借入金	122,062	88,743
1年内返済予定の長期借入金	36,192	38,135
1年内償還予定の社債	20,142	10,142
未払法人税等	4,103	6,007
役員賞与引当金	93	58
修繕引当金	10,601	6,709
事業構造改善引当金	1,290	913
資産除去債務	25	—
その他	89,798	98,510
流動負債合計	448,499	389,838
固定負債		
社債	79,858	79,787
長期借入金	289,138	273,553
繰延税金負債	24,421	20,613
役員退職慰労引当金	283	244
修繕引当金	2,147	2,650
環境対策引当金	956	816
事業構造改善引当金	10,846	8,344
退職給付に係る負債	59,193	57,707
資産除去債務	4,268	4,183
その他	20,882	22,643
固定負債合計	491,992	470,540
負債合計	940,491	860,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	90,917
利益剰余金	165,408	190,655
自己株式	△14,454	△14,506
株主資本合計	367,072	392,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,018	17,928
繰延ヘッジ損益	△331	208
為替換算調整勘定	28,926	22,109
退職給付に係る調整累計額	△10,450	△8,747
その他の包括利益累計額合計	39,163	31,498
非支配株主持分	65,064	61,529
純資産合計	471,299	485,146
負債純資産合計	1,411,790	1,345,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	775,959	708,647
売上原価	660,928	563,646
売上総利益	115,031	145,001
販売費及び一般管理費	96,452	103,589
営業利益	18,579	41,412
営業外収益		
受取利息	179	267
受取配当金	1,959	789
持分法による投資利益	369	3,747
為替差益	1,824	—
その他	2,397	1,871
営業外収益合計	6,728	6,674
営業外費用		
支払利息	3,689	3,547
為替差損	—	410
その他	2,190	2,935
営業外費用合計	5,879	6,892
経常利益	19,428	41,194
特別利益		
固定資産売却益	54	70
投資有価証券売却益	175	1,169
事業譲渡益	—	3,738
特別利益合計	229	4,977
特別損失		
固定資産処分損	1,507	2,110
固定資産売却損	—	4
減損損失	1,820	2,725
関連事業損失	—	204
退職給付制度改定損	181	—
特別損失合計	3,508	5,043
税金等調整前四半期純利益	16,149	41,128
法人税等	5,698	8,306
四半期純利益	10,451	32,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,087	4,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,364	28,461

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	10,451	32,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,182	△3,229
繰延ヘッジ損益	△252	327
為替換算調整勘定	3,422	△7,910
退職給付に係る調整額	4,467	1,741
持分法適用会社に対する持分相当額	66	△533
その他の包括利益合計	10,885	△9,604
四半期包括利益	21,336	23,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,473	20,796
非支配株主に係る四半期包括利益	3,863	2,422

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,149	41,128
減価償却費	22,519	23,342
のれん償却額	1,207	1,966
減損損失	1,820	2,725
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	272	△604
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△365	△1,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△130	△116
修繕引当金の増減額(△は減少)	△4,712	△3,268
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△342	△139
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△1,083	△2,861
受取利息及び受取配当金	△2,138	△1,056
支払利息	3,689	3,547
持分法による投資損益(△は益)	△369	△3,747
投資有価証券売却損益(△は益)	△79	△1,169
固定資産除却損	392	280
固定資産売却損益(△は益)	△54	△66
売上債権の増減額(△は増加)	9,745	17,187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,470	15,634
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,884	△19,401
その他	13,777	21,768
小計	19,944	93,450
利息及び配当金の受取額	2,597	1,767
利息の支払額	△3,777	△3,535
法人税等の支払額	△3,616	△5,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,148	86,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,986	△20,737
有形固定資産の売却による収入	223	197
無形固定資産の取得による支出	△1,009	△812
長期前払費用の取得による支出	△420	△81
投資有価証券の取得による支出	△630	△38,377
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,441	1,894
事業譲渡による収入	—	44,649
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,398	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	375	—
その他	△422	591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,826	△12,676

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,367	△28,129
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△15,000	—
長期借入れによる収入	17,584	6,477
長期借入金の返済による支出	△14,019	△20,028
社債の償還による支出	△13,000	△10,071
非支配株主からの払込みによる収入	92	—
自己株式の売却による収入	2	1
自己株式の取得による支出	△27	△53
配当金の支払額	—	△3,002
非支配株主への配当金の支払額	△2,662	△3,448
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△163
その他	△70	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,733	△58,460
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,929	14,786
現金及び現金同等物の期首残高	71,210	50,622
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,281	65,408

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード& パッケー ジング	計		
売上高									
外部顧客への売上高	68,427	85,657	74,986	174,399	293,965	61,350	758,784	17,175	775,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	601	9,725	1,537	14,678	76,554	1,939	105,034	33,418	138,452
計	69,028	95,382	76,523	189,077	370,519	63,289	863,818	50,593	914,411
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,469	7,102	△3,525	△4,927	12,544	5,340	21,003	368	21,371

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	21,003
「その他」の区分の利益	368
セグメント間取引消去等	△147
全社費用等(注)	△2,645
四半期連結損益計算書の営業利益	18,579

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン (注2)	基礎 化学品	石化	フード& パッケ ージング	計		
売上高									
外部顧客への売上高	82,089	86,510	63,237	141,352	252,712	63,898	689,798	18,849	708,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	617	9,257	1,130	10,346	60,390	2,054	83,794	29,642	113,436
計	82,706	95,767	64,367	151,698	313,102	65,952	773,592	48,491	822,083
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,626	13,870	△3,322	982	20,460	7,777	44,393	△61	44,332

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間において、韓国SKCとのポリウレタン材料事業の統合に伴い、「ウレタン」セグメントの資産が18,735百万円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	44,393
「その他」の区分の損失(△)	△61
セグメント間取引消去等	20
全社費用等(注)	△2,940
四半期連結損益計算書の営業利益	41,412

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社は、平成26年度中期経営計画における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速を図るため、平成27年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能化学品セグメントのうち、精密化学品事業を基礎化学品セグメントに、ライセンス事業を石化セグメントに移管し、ヘルスケア材料事業、不織布事業及び歯科材料事業をヘルスケアセグメントとしております。また、従来の機能化学品セグメントの農薬事業とフィルム・シートセグメントを統合し、新たにフード&パッケージングセグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、以下のとおりであります。

セグメント	主 要 製 品	
報告セグメント	ヘルスケア	ヘルスケア材料、不織布、歯科材料
	機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー
	ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料
	基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、 ペット樹脂、エチレンオキサイド、特殊ガス、化成品
	石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒
	フード&パッケージング	機能性フィルム・シート、農薬
その他	その他	その他関連事業等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

① 連結の範囲の変更

当第2四半期連結会計期間より、天津天寰ポリウレタン有限公司他4社をポリウレタン材料事業の譲渡に伴い、連結の範囲から除外しております。

② 持分法適用の範囲の変更

当第2四半期連結会計期間より、Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. 他1社を設立したことに伴い、持分法適用の範囲に含めております。また、錦湖三井化学(株)他1社をポリウレタン材料事業の譲渡に伴い、持分法適用の範囲から除外しております。

(8) 企業結合等関係

(韓国 SKC とのポリウレタン材料事業合弁会社設立)

当社と韓国 SKC Co., Ltd. (以下「SKC」といいます。)とのポリウレタン材料事業の統合について、平成26年12月22日にSKCと締結した契約に基づき、平成27年7月1日に Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. (以下「韓国合弁会社」といいます。)が発足いたしました。

また、当社のポリウレタン材料事業については、同日、受取対価を現金とする吸収分割(以下「会社分割」といいます。)により、当社が設立した三井化学 SKC ポリウレタン株式会社(以下「日本合弁会社」といいます。)に承継させた上で、その全株式を韓国合弁会社が保有いたしました。

その結果、韓国合弁会社に対する当社の持分比率は50%となり、同社は当社の持分法適用会社となりました。

① 会社分割の概要

1) 分割先企業の名称及び概要

分割先企業の名称：三井化学 SKC ポリウレタン株式会社

分割先企業の概要

- ・所在地 : 東京都港区東新橋一丁目5番2号
- ・事業内容 : ポリウレタン材料の製造・販売・研究
- ・資本金 : 180億円

2) 分割した事業の内容

ポリウレタン材料の製造・販売・研究

3) 会社分割を行った主な理由

当社とSKC両社のポリウレタン材料事業を一体化し、両社が長年に亘り蓄積してきたノウハウや情報を活用することで、統合シナジーを最大化させ、顧客にトータルソリューションを提供することを目的とし、本事業分離を実施することとしました。

4) 会社分割日

平成27年7月1日

5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

i. 法的形式

受取対価を現金とする吸収分割

ii. その他取引の概要

当社は、会社分割の発効と同時に、日本合弁会社の全株式を韓国合弁会社に現物出資いたしました。なお、負ののれん発生益を、持分法による投資利益として32億円計上しております。

韓国合弁会社の概要は以下のとおりです。

- ・商号 : Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc.
- ・所在地 : 韓国ソウル
- ・事業内容 : ポリウレタン材料の製造・販売・研究
- ・資本金 : 700億韓国ウォン
- ・大株主及び持ち株比率 : 当社(50%)※、SKC(50%)

※同社は当社の持分法適用会社となりました。

② 実施した会計処理の概要

1) 移転損益の金額

3,738 百万円

2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産 44,298 百万円

固定資産 16,143 百万円資産合計 60,441 百万円

流動負債 10,540 百万円

固定負債 165 百万円負債合計 10,705 百万円

3) 会計処理

「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、会計処理を行っております。

なお、移転したポリウレタン材料事業に関する投資は清算されたものとみて、それに係る移転損益等を認識しております。

③ 分割した事業が含まれていた報告セグメントの名称

ウレタンセグメント

④ 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 144億円

営業利益 5億円

4. 補足情報

企業集団の状況

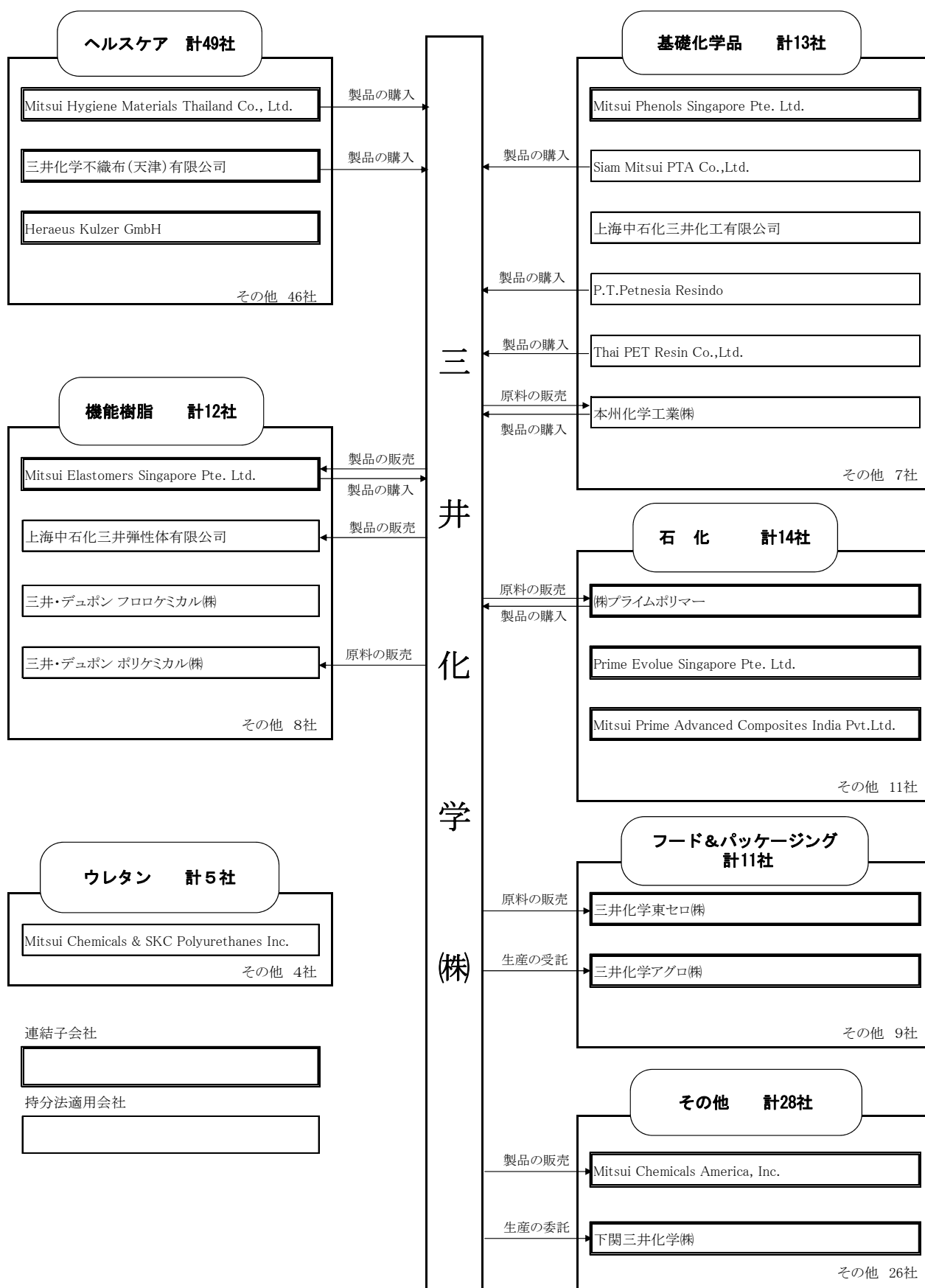
当社グループは、当社、子会社 105 社及び関連会社 31 社で構成され、ヘルスケア、機能樹脂、ウレタン、基礎化学品、石化及びフード&パッケージングの製造・販売を主な事業内容とし、さらに、各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

当社は、子会社のうち 95 社を連結し、清算状態等の 4 社を除く子会社及び関連会社 37 社に持分法を適用しております。

各セグメントにおける主要製品と主な関係会社は次のとおりです。

セグメント	主要製品	主な関係会社
ヘルスケア	ヘルスケア材料、不織布、歯科材料	Mitsui Hygiene Materials Thailand Co., Ltd.、三井化学不織布(天津)有限公司、Heraeus Kulzer GmbH その他 46 社 (計 49 社)
機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー	Mitsui Elastomers Singapore Pte. Ltd.、上海中石化三井弾性体有限公司、三井・デュポンフロロケミカル(株)、三井・デュポンポリケミカル(株) その他 8 社 (計 12 社)
ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料	Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. その他 4 社 (計 5 社)
基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、エチレンオキサイド、特殊ガス、化成品	Mitsui Phenols Singapore Pte. Ltd.、Siam Mitsui PTA Co., Ltd.、上海中石化三井化工有限公司、P.T. Petnesia Resindo、Thai PET Resin Co., Ltd.、本州化学工業(株) その他 7 社 (計 13 社)
石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒	(株)プライムポリマー、Prime Evolve Singapore Pte Ltd.、Mitsui Prime Advanced Composites India Pvt. Ltd. その他 11 社 (計 14 社)
フード&パッケージング	機能性フィルム・シート、農薬	三井化学東セロ(株)、三井化学アグロ(株) その他 9 社 (計 11 社)
その他	その他関連事業等	Mitsui Chemicals America, Inc.、下関三井化学(株) その他 26 社 (計 28 社)

以上の企業集団の状況に関する事業系統図は次のとおりです。



なお、一部の会社は複数のセグメントに跨っております。